※令和３年度以前入学生用

学校番号	206

令和５年度　公民科

教科	公民科	科目	倫理	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校　新倫理　最新版」　（清水書院）						
副教材等	「最新図説　倫理」　（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「なぜ」と問うことから始まった人間のあゆみ、思想形成の変遷を学ぶ楽しさを感じとろう。
・悩み多い青年期の自己形成の助けとなることが先哲から学びとれると期待して学習に臨もう。
・人間尊重の精神を学び、他者と共に生きるために多様性を認め、寛容の精神を育てたい。
・現在の日本に於いて良識ある公民として身につけるべきことは何かと真摯に問い続けたい。

２　学習の到達目標

・青年期における自己形成の課題と、人間としての在り方生き方について、おもに古今東西の諸思想の学習をとおして、理解と思索を深める。
・先哲の考え方の理解を手がかりにして、人間の存在や価値について思索し、人生観・世界観・価値観などを形成し、自己の人格形成に努める実践的態度を養う。
・日本の伝統的な自然観、宗教観、人間観などの特質を理解し、公民としての在り方生き方について自覚を深める。
・現代社会の倫理的な課題について、主体的な思考と公正な判断ができる能力を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を高めており、人格形成や自己形成の確立に努める実践的意欲を持っている。 ・倫理的な諸課題についての探究的な態度を身につけ、人間としての在り方生き方への自覚を深めようとしている。	・他者と共に生きる自己の確立について広く課題を発見し、人間の存在や価値、現代の倫理課題などについて多面的・多角的に探究する姿勢がある。 ・良識ある公民としての広い視野に立つことで、主体的かつ公正な判断をしている。 ・課題についての考察や判断の過程や結果を、さまざまな方法で適切に表現している。	・自己形成や人間としての在り方生き方、現代の倫理的課題に関して様々な資料を収集、整理し、情報を主体的に選択している。 ・諸資料を自己形成のために主体的に活用し、追究した内容などをさまざまな方法で適切に表現している。	・青年期における自己形成や人間としての在り方生き方、現代の倫理的課題などに関した基本的なことがらを他者と共に生きる自己の確立の課題として理解している。 ・自己の人格形成や課題解決のために生かす知識を身につけている。

※令和３年度以前入学生用

評価方法	ワークシート レポート アンケート	定期考査 ワークシート レポート	定期考査 レポート 小テスト	定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	現代に生きる自己の課題	1　人間とは何か 2　青年期の意義 3 社会の中での自己実現	 ○ ○	○ ○	 ○ 	○ ○ ○	a:自己の体験などを通し、青年期の意義と課題への関心を高め、意欲的に探究し、社会の一員としての自己の生き方について、現代の倫理的課題と結びつけて考えることができる。 b:課題を見つけ、青年期の意義や課題を多面的、多角的に考察し、自己形成に向けた探究を行う。現代の諸課題と結びつけ、主体的・公正に判断し、結果を適切な方法で表現できる。 c:自己の体験などを踏まえて、青年期の課題などを諸資料から適切に選択し、自己形成に活用できる。 d:青年期の意義や課題を、他者や集団との関わりを視点として、自己確立につなげて理解し、人格形成に生かす知識として身につける。	ワークシート アンケート

※令和３年度以前入学生用

1学期	人間としての自覚と生き方	1　古代ギリシャの思想 2　唯一神の宗教 3　古代インド思想と仏教 4　中国思想	○ ○ ○	○ ○ 	 ○ ○	○ ○ ○	a:ギリシャ哲学の「善く生きる」ことの探究を自己の課題と結びつけて学ぼうとしている。 一神教の特徴を生き方在り方の課題と結びつけて考察しようとしている。 仏教の人生観、中国の道徳論などと自己の生き方を結びつけて学ぼうとしている。 b:「善く生きる」探究を自己の課題と照らし合わせて適切に判断し、結果を適切に表現できる。 一神教の教えなどから自己の生き方との関わりを考え、適切に表現できる。 仏教の教えや中国思想を自己や社会の課題に結びつけて考察し表現できる。 c:諸資料を適切に読み、情報を選択して活用している。 d:ギリシャ思想を自己の生き方に関わるものとして理解しその知識を身につけている。 一神教の特徴を自己の在り方生き方と結びつけて理解しその知識を身につけている。 仏教の教えを人間としての生き方と結びつけて理解し、その知識を身につけている。 中国思想の基本的な考え方を理解している。	定期考査 ワークシート レポート

※令和３年度以前入学生用

２学期	現代社会と倫理	１　人間の尊厳	○			○	a:近代的人間の特徴を学ぼうとする姿勢、科学技術の意義や課題を主体的に考察しようとする姿勢、人間や幸福について探究する姿勢、近代の諸思想を自己との関わりで学ぼうとする姿勢を示し、近代思想の見直しについて、現代の倫理的課題と結びつけて学ぼうとしている。 b:自由意志や近代精神を自己の生き方と結びつけて判断に生かすことができる。科学技術について主体的に考え、適切に表現できる。近代思想を幸福、公正、正義などの視点で考察するとともに、幸福や正義を多角的に考察し、表現できる。近代思想の見直しを自己の課題と結びつけて考察し、表現できる。 c:諸資料を適切に活用している。 d:近代的人間観や合理的思考について理解し、その知識を身につけている。 　人間がよりよく生きるという観点から科学技術についての知識を身につけている。 　近代思想の基本的内容、基本的特徴を理解している。 　現代思想を近代的人間観、社会観の見直しとして理解でき、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 小テスト
		２　自然や科学技術と人間とのかかわり	○		○			
		３　民主社会における人間の在り方	○	○		○		
		４　自己実現と幸福		○	○			
		５　個人と社会とのかかわり	○	○		○		
		６　現代における理性の問題	○	○		○		
		５　新しい時代への扉		○	○	○		

※令和３年度以前入学生用

２学期	国際社会に生きる日本人の自覚	１　日本の風土と伝統 ２　仏教の伝来と隆盛 ３　儒教の日本化	○ ○	○ ○ 	○ ○	 ○ ○	a:日本の古代の倫理観や自然観を、自己の生き方と結びつけて学ぼうとしている。 　日本仏教の人生観、儒学の人生観などと自己の生き方を結びつけて学ぼうとしている。 b:日本の伝統的な倫理観を自己の生き方に関連づけて考察し、適切に表現できる。 　日本仏教の教えと儒学の教えを自己の生き方に照らし合わせて考察し表現できる。 c:諸資料を適切に活用して考察している。 d:日本の伝統的な価値観や自然観を理解し、その知識を身につけている。 　日本仏教の教えと儒学の教えを人間の生きかたと結びつけて理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート レポート

※令和３年度以前入学生用

3学期	国際社会に生きる日本人の自覚	4　日本文化と国学 5　近世庶民の思想 6　西洋近代思想の受容 7　世界大戦とその後の日本	 ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:日本文化と国学、近世思想を、人間の在り方生き方と結びつけて学ぼうとしている。 西洋思想の受容によって生き方在り方がどのように変容したか、いかなる葛藤が生じたかを自己の課題と結びつけて考察しようとしている。 国際社会に生きる日本人の主体的な生き方について学ぼうとしている。 b:近世思想の教え、西洋思想の受容を自己の生き方と結びつけて考察し適切に表現できる。 国際社会に生きる主体的な日本人としてどうあるべきかを適切に判断し表現できる。 c:諸資料を適切に活用している。 d:近世思想の教えを人間の生きかたと結びつけて理解し、その知識を身につけている。 西洋思想の受容の特徴を理解し、西洋文化の受容と葛藤を自己の課題と結びつけて理解し、その知識を身につけている。 日本人論や国際社会における役割などを理解し、それに必要な知識を身につけている。	定期考査 ワークシート

※令和３年度以前入学生用

3学期	現代の諸課題と倫理	1 生命と倫理		○		○	a:生命諸科学、環境に関する探究を自己の生き方とのかかわりで学ぼうとしている。 家族や地域社会の諸課題、情報社会の課題を自己や社会の課題として考察しようとしている。 文化や宗教を異文化尊重や交流の観点から学ぼうとしている。 国際平和や国際協調について、自己や日本と世界の関わりの視点から学ぼうとしている。 b:生命化学の諸課題、環境に関する諸課題、情報社会の課題、家族・地域社会の諸課題を公平、多角的に考察できる。 文化や宗教をめぐる諸課題を適切に考察している。 国際平和や人類福祉について多角的、公平に判断している。 c:諸資料を適切に活用している。 d:生命諸科学、環境問題、家族や地域社会の問題、情報社会の問題についてそれぞれの課題を理解し、適切な知識を身につけている。 国際社会に生きる青年として、異文化理解をすすめ、文化や宗教の知識を適切に身につけている。 国際協調の視点から自己の生き方と結びつけて理解している。	定期考査 ワークシート レポート 資料収集
		2 地球環境と倫理	○	○		○		
		3 家族･地域社会と倫理		○	○			
		4 情報社会における倫理	○		○			
		5 グローバル化の時代と倫理		○	○	○		
		6 人類の福祉と国際平和	○			○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。